

様式第2号(第8条関係)

審議会等会議録

会議の名称	第1回加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画委員会
開催日時	令和7年12月18日(木) 午後3時30分から午後5時まで
開催場所	加須保健センター2階会議室
議長氏名	氏家裕順
出席委員	牛腸宏、成田武志、石川安則、岡田清、石島徹、市川邦夫、大島さち子、青木正枝、小柳明雄、今村辰之助、
欠席委員	鳥海靖久、柴田一義、坂本優太、岸和治、椎名秀樹
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱 3. 市長あいさつ 4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長、副会長の選任について (2) 第2次加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画の策定について 5. 閉会
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画骨子案について (全体構成図・スキーム図含む) ・「第2次加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画」策定のポイント
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	北川辺総合支所地域振興課:課長 新井弘樹 北川辺総合支所地域振興課:主幹 衛藤紀子
事務局職員職・氏名	北川辺総合支所:支所長 山岸弘通 北川辺総合支所地域振興課:課長 新井弘樹 北川辺総合支所地域振興課:主幹 衛藤紀子
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録

その他必要な事項	
----------	--

様式第3号(第8条関係)

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局(衛藤北川 辺総合支所地域振興課主幹)	1 開会
市長	2 委嘱 牛腸宏、成田武志、石川安則、岡田清、石島徹、市川邦夫、大島さち子、青木正枝、小柳明雄、今村辰之助 ※氏家裕順氏は到着後交付
市長	3 市長あいさつ
事務局(衛藤北川 辺総合支所地域振興課主幹)	・仮議長選出説明 ・角田市長仮議長選出
市長(仮議長)	4 議事 (1)会長、副会長の選任について
市川委員	会長の選任 事務局に一任
石川委員	大学の准教授として幅広い知識をお持ちの平成国際大学の氏家委員を会長として推薦
市長(仮議長)	事務局に回答を求める
事務局(新井北川 辺総合支所地域振興課課長)	事務局としても、大学の准教授として幅広い知識をお持ちの平成国際大学の氏家委員に会長を務めていただければと考えている。
市長(仮議長)	事務局の説明について、氏家委員を会長にすることについて、委員に異議の有無を確認
全委員	異議なし
市川委員	副会長の選任 事務局に一任
岡田委員	都市計画審議会会长の成田委員を副会長として推薦
市長(仮議長)	事務局に回答を求める
事務局(新井北川 辺総合支所地域振興課課長)	事務局としても、都市計画審議会会长である成田委員は、現行計画の副会長も務めているので、第2次計画においても副会長を務めていただければと考えている。
市長(仮議長)	事務局の説明について、成田委員を副会長にすることについて、委員に異

	議の有無を確認
全委員	異議なし (氏家委員到着)
市長	退席
氏家会長	会長挨拶
成田副会長	副会長挨拶
衛藤主幹	本会議の取り扱いについて、「会議の公開・会議録の公表について」説明
氏家会長	4. 議事
事務局(新井北川 辺総合支所地域振 興課課長)	(2)第2次加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画の策定について 第2次加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画骨子案について (全体構成図・スキーム図含む)の資料を使用して説明
氏家会長	質疑応答
市川委員	渡良瀬遊水地はスポーツ施設が充実している。野球やソフトボールなどの利用者が多く訪れるが、駐車場の場所が明確でないため、駐車場についての見解を伺いたい。
新井課長	スポーツ施設についてはスポーツ振興課が所管であるが、駐車場の場所の明確化という部分でご意見として承る。
衛藤主幹	市川委員のご意見は、野球場の傍にある堤防の法面下を駐車場として利用していることに対しての明確化を要望されていると認識しているので、担当課であるスポーツ振興課に現状を確認して検討していく。
岡田委員	加須市内の農業に携わる後継者不足が課題となっている。藤畠地区住民の意見として、観光農業の推進が必要ではないか。そのうえで、民間活力を活かし農業体験をしながら熱気球を楽しみ、三県境なども巡れる観光農業を展開してほしい。 また、柳生駅北口から遊水地へ向かうアクセス道路は、今年拡幅された。観光バスが今後通行可能となることを期待するが、大型トラックなども通行されると生活に支障が出る。生活にも配慮されることが望ましい。
新井課長	市ですべての事業を展開していくのは予算も足りないこともあって難しい。市内外を問わず、また民間事業者も含めて担い手を育成していくことが重要であると考える。
今村委員	また、道路の整備についても地元の方の声を聴きながら進めていきたい。この計画は色々盛り込んでいると感じた。どの施策を優先的に進めていくのかは今後検討していくと思うが、他市町との連携する中でも差別化や実現可能性を分けて事業を展開していく必要があると思う。

新井課長	優先順位は必要であると認識しており、今後検討していく。
小柳委員	柳生駅の駅名を「渡良瀬遊水地駅」に変更し、地域のイメージを強化することが有益ではないか。
新井課長	従来から駅名変更を希望する声がある。最終的な判断は東武鉄道となるが、まずは鉄道利用者が増える環境づくりが重要だと考えている。
青木委員	骨子P27記載「4 地域資源間のアクセス性の向上」について、柳生駅、仕出沼、道の駅や三県境を繋げるような「自然再生ネットワークの遊歩道」の整備を提案。チョウの好きな草花を植えて「バタフライロード」とし、植樹活動を市民参加型で行うことで、その後の成長を楽しみに再訪が期待できる。 また、仕出沼の外来種を駆除し、自然資源として再生し多くの方が観光として訪れる場所にしたい。 休耕田についての担い手不足についても、稲作と共に生きていた「赤とんぼ」に着目し、赤とんぼの保護地として加須市ならではの利活用をすることも方策の一つ。 P26記載の「サクラを植樹した景観づくり」、「旧合の川堤防の桜並木の延伸、柳生の桜堤の保全」は現在、クビアカツヤカミキリの被害が拡大しているので、サクラの代わりに、既存のサクラ並木と整合性を持たせながら地域本来の在来種に植え替え、鳥が好む実を付ける木を植え替えることを提案。
新井課長	遊歩道を活かした観光ルートの整備について、前向きに検討していく。 植樹については、市の木がサクラということもあり、今後、整合性を図りながら検討していく。
岡田委員	仕出沼は、地元藤畠自治会で所有し、沼周辺の遊歩道は市所有である。以前は有料の釣り堀として経営していたが、現在は料金徴収していない、しかし、近年釣り客が増えてきているので、地元から再び有料化という声も聞こえるが、沼地の整備等は自治会だけでは難しいので、行政の支援が必要。 アクセス道路については、旧北川辺町の頃に、将来柳生駅北口が開設されることを期待して緑道が整備されている。 観光農業については、例えばライスパークの「田んぼオーナー制」のようなイベントを実施しても良いのではないかと地元では考えている。
石川委員	道の駅があるスーパー堤防拡張による駐車場増設は難しいので、R354から踏切を渡り、道の駅の下側に大型駐車場を整備することも方策の一つとして考えてはどうか？
新井課長	事務局としても道の駅下を整備できるか、今後検討する。

大島委員	踏切の拡幅が行われたが、渡良瀬遊水地や道の駅にもスムーズに行けるようにするには、まずは柳生駅北口の開設だと感じているので、一番に要望したい。
新井課長	これまでも東武鉄道には要望していますが、乗降者数を鑑みるとなかなか難しいと感じている。理想としては、この計画が起爆剤として来訪者が増加し活性化され、結果、駅利用者が増えることで駅の整備への要望が強く言えるよう事業展開していきたい。
衛藤主幹	市としては毎年東武鉄道に要望しており、「エレベーターの設置」「バリアフリーのトイレの設置」等も併せて要望している。計画の中にどう盛り込んでいくのか、市の第2次総合振興計画との整合性も含めて検討していく。
氏家会長	さきほど、小柳委員が発言された「駅名変更」だが、地理的にもこれほど渡良瀬遊水地に近い駅は他ではない。駅名変更について、例えばイベントのポスターやチラシに掲載するアクセスマップで「渡良瀬遊水地の玄関は柳生駅」と記載して宣伝し、ある程度浸透してから東武鉄道に駅名変更を要望したほうがいいのではないか。段階的にすすめるのが良いと思う。
小柳委員	東洋大学板倉キャンパスもなくなり、おそらく「板倉東洋大前駅」の名称も変わらぬのではないか？それと機を同じくして柳生駅の駅名変更も陳情したらどうか。それに併せて茨城県境町で走行している「自動運転バス」の導入と一緒に提案すれば、東武鉄道にとっても誘客の効果もあり良いと思う。 貴重な意見として承る。
新井課長	事務局には本委員会で出された貴重な意見を整理し、素案に向けて検討してもらいたい。
氏家会長	次回の会議は令和8年2月12日前後を予定
新井課長	5 閉会
衛藤主幹	
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注)	
令和8年1月5日	
署名 <u>氏家 裕順</u>	